

災害・緊急医療機器標準化支援事業

検討会レポートⅠ

事務局 中部オフィス 高橋 弘章

第1回目の検討会レポートは、2012年10月31日、11月14日、11月28日、12月18日に実施した検討会活動をご報告致します。

初回2012年10月31日冒頭はキックオフを実施しました。

中部経済産業局 平成24年度地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域新成長群創出事業）においての本活動の位置づけや成果目標について主旨説明を行い、検討の方法（http://www.jmac.co.jp/special/health_care/pdf/approach.pdf）の確認や、2013年3月末のゴールイメージの共有を図りました。

その後、早速、日本能率協会コンサルティング チーフ・コンサルタントの渡部より、医療機関関係者や被災地の声を基にした要求ニーズをご紹介し、以下3点について日進医療器と共に検討・整理を十分な時間を掛けて行い、NFS（Needs Function Seeds）変換表（http://www.jmac.co.jp/special/health_care/pdf/nfs.pdf）を作成しました。

<1点目>は要求ニーズ内容から、顧客が伝えたいことが何かを読み解き、ニーズキーワードを明確化します。ここでは、顧客プロセス(緊急・災害発生～救出～搬送～治療)に沿って要求ニーズの背景/理由を考え、顧客が求めていることを一言で言い表すニーズキーワードを抽出することがポイントになります。

<2点目>は要求ニーズ内容とニーズキーワードを基に、顧客によるニーズの強弱の違いを明確化します。こちらのポイントとしては、顧客プロセス(緊急・災害発生～救出～搬送～治療)度をもとに重みづけすることになります。

<3点目>は要求ニーズ内容とニーズキーワードを充足させる製品仕様・機能を発想して明確化します。ポイントは各製品仕様・機能を従来機能と新機能の観点から眺め、要求ニーズ内容やニーズキーワードが、どの製品仕様・機能と関連してくるかを明確にし、製品仕様・機能間で相対的に重みづけをすることになります。

次に標準化対象の検討に入り、ニーズキーワード等を基に製品を用途、シチュエーション等で分類し、どの製品仕様・機能をどの製品で実現させるかの検討に進んでいます。

次回、第2回検討会レポートは2月下旬を予定しています。



検討会の様子

■ 本事業に関するご紹介はこちらから >> http://www.jmac.co.jp/special/health_care/